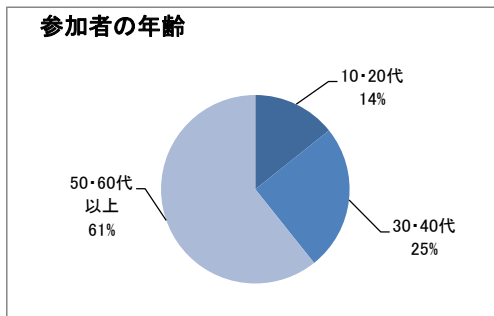


平成29年度 生涯学習・地域づくり実践フォーラム 参加者アンケート集計結果

・参加者	52名
・アンケート回収数	28枚

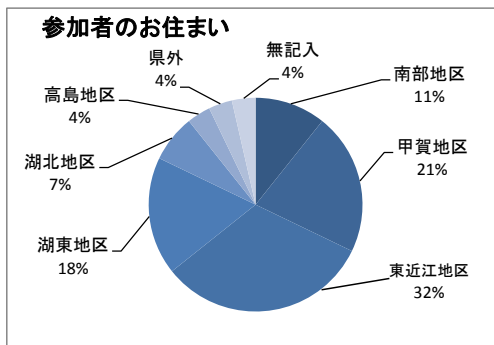
Q1(1) 参加者の年齢

	年齢	人数(人)	割合(%)
1	10・20代	4	14.3%
2	30・40代	7	25.0%
3	50・60代以上	17	60.7%
合計		28	100.0%



(2) 参加者のお住まい

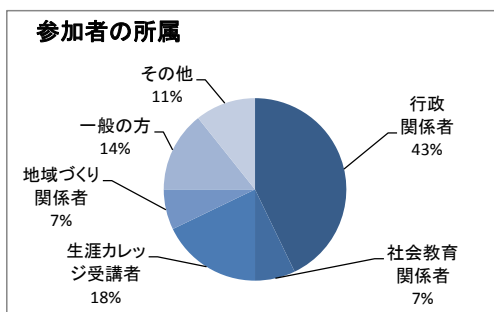
	市町名	人数(人)	割合(%)
県内	南部地区	3	10.7%
	甲賀地区	6	21.4%
	東近江地区	9	32.1%
	湖東地区	5	17.9%
	湖北地区	2	7.1%
	高島地区	1	3.6%
	県外	1	3.6%
	無記入	1	3.6%
合計		28	100.0%



(3) 参加者の所属

	年齢	人数(人)	割合(%)
1	行政関係者	12	42.9%
2	社会教育関係者	2	7.1%
3	生涯カレッジ受講者	5	17.9%
4	地域づくり関係者	2	7.1%
5	一般の方	4	14.3%
6※	その他	3	10.7%
合計		28	100.0%

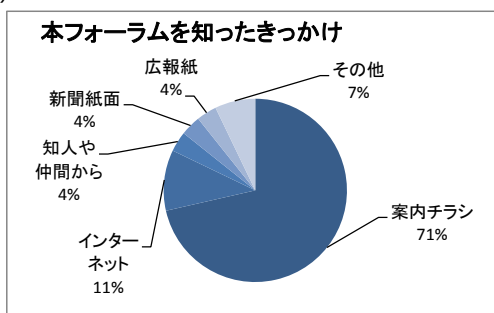
※中学生の学習指導員、滋賀の教師塾生



Q2. 本フォーラムを知ったきっかけ (複数回答)

	方法	人数(人)	割合(%)
1	案内チラシ	20	71.4%
2	インターネット	3	10.7%
3	知人や仲間から	1	3.6%
4	新聞紙面	1	3.6%
5	広報紙	1	3.6%
6※	その他	2	7.1%
合計		28	100.0%

※生涯カレッジ受講時、滋賀の教師塾受講時

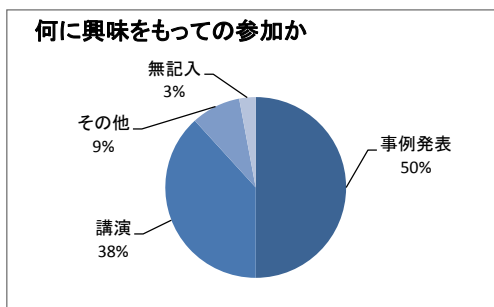


Q3. 何に興味をもったの参加か (複数回答)

	方法	人数(人)	割合(%)
1	事例発表	17	50.0%
2	講演	13	38.2%
3※	その他	3	8.8%
4	無記入	1	2.9%
合計		34	100.0%

※自分の活動の参考とするため。

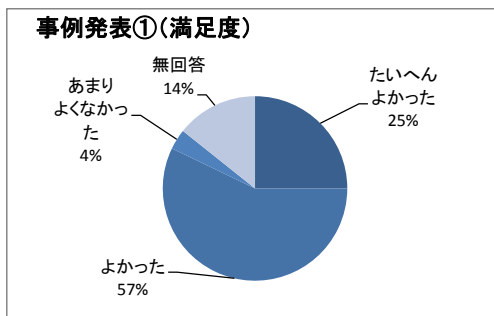
地区の役員をしており、地域づくりに生かすため。
自分が自分の市町で何が出来るか知れたかった。



Q4. 事例発表・講演の感想（各感想等は別紙）

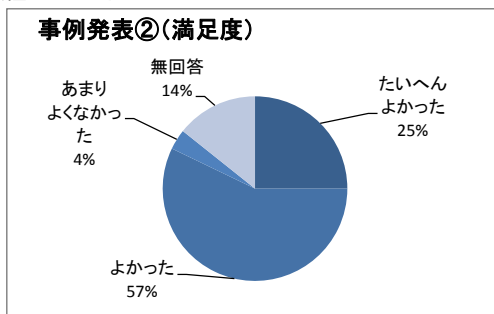
(1) 事例発表①：「あいごうか生涯カレッジ」の取組について

	方法	人数(人)	割合(%)
1	たいへんよかった	7	25.0%
2	よかった	16	57.1%
3	あまりよくなかった	1	3.6%
4	よくなかった	0	0.0%
5	無回答	4	14.3%
合計		28	100.0%



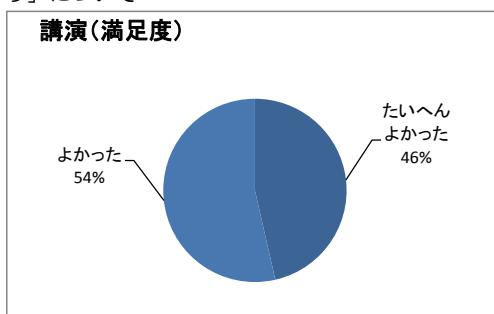
(2) 事例発表②：「長浜生涯カレッジ」の取組について

	方法	人数(人)	割合(%)
1	たいへんよかった	7	25.0%
2	よかった	16	57.1%
3	あまりよくなかった	1	3.6%
4	よくなかった	0	0.0%
5	無回答	4	14.3%
合計		28	100.0%



(3) 講演：「学びの成果を生かした地域づくり」について

	方法	人数(人)	割合(%)
1	たいへんよかった	13	46.4%
2	よかった	15	53.6%
3	あまりよくなかった	0	0.0%
4	よくなかった	0	0.0%
合計		28	100.0%



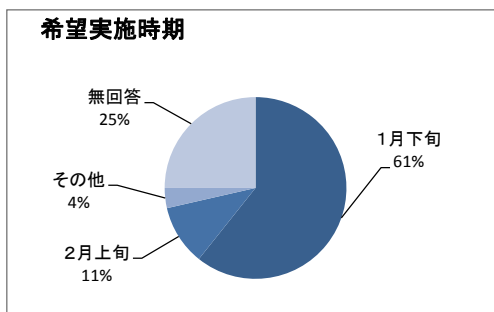
Q5. 現在の活動・今後考えている活動は別紙

Q6. 本フォーラムの開催時期等

(1) 希望実施時期

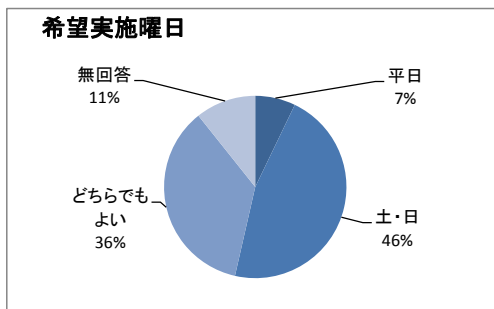
	方法	人数(人)	割合(%)
1	1月下旬	17	60.7%
2	2月上旬	3	10.7%
3	2月下旬	0	0.0%
4※	その他	1	3.6%
5	無回答	7	25.0%
合計		28	100.0%

※5月中旬



(2) 希望実施曜日

	方法	人数(人)	割合(%)
1	平日	2	7.1%
2	土・日	13	46.4%
3	どちらでもよい	10	35.7%
4	無回答	3	10.7%
合計		28	100.0%



Q7. 本フォーラムに対する意見・感想は別紙

平成29年度 生涯学習・地域づくり実践フォーラム 参加者アンケート感想等（一部抜粋）

Q4. 事例発表・講演の感想等（満足度：1. たいへんよかった 2. よかった 3. あまりよくなかった 4. よくなかった）

満足度	(1) 事例発表①：「あいこうか生涯カレッジ」の取組について
1	地域発見講座で地域を改めて知ることによって、受講者の方がどのような刺激を受けたのか気になった。
1	大学との連携により、「興味・関心」が理論学習へとつながり、体験が主体的な学びとなっていたことがすばらしいと感じた。
2	それぞれの講座の内容をととも工夫されていた。
2	受講者から次年度の講座の提案が出て、実現されていることがすばらしいと感じた。
2	地域ならではの地域資源を学べる講座は魅力的だと思う。
2	幅広い講座に興味があった。地域づくりへの仕掛け等には絞り込み必要だと感じた。
2	実行委員会として取り組まれているところが参考になった。理論講座につなげているところはやはり難しいと思えた。

満足度	(2) 事例発表②：「長浜生涯カレッジ」の取組について
1	地元高校・大学が学びの場となっていること、さらに、参加者が運営に参画することによる人材育成がはかられていることがすばらしいと感じた。
1	生涯学習の“よさ”に気付くことができた。課題を解決していくためにどのような施策をされるのか気になった。
2	長浜エリアでは、30～40代前半の方々が色々な活動を展開されている。そういった活動と生涯学習をうまくつなげていくことが地域活性につながると感じた。
2	市内の高校すべてが参画されていることはすばらしいと思った。
2	課題と成果にはうなずけた。若者の参画が難しい。バイオ大学に、講座だけでなく、学生も一緒に活動できる場があればおもしろいと思った。
2	課題の中にあつたように、リピーターが多く、専門的化されており、少し難しいなと感じた。内容への踏み込みが必要と思う。
2	若い人が入ってくれる講座を、どう描いていくかが課題であると思った。

満足度	(3) 講演：「学びの成果を生かした地域づくりー地域を見る、観る、覧る、診るー」について
1	教育基本法から基本的な筋道をとおして、生涯学習の意義を解説いただいて、大変よかった。
1	学びの本質や公民館に係る法律などについて、大変分かりやすくご指導いただけた。様々な主体がつながっていくためののりしろ作りを公民館や行政が担うことが大切だと思った。
1	地域の発展と人口の増加等、地域の状況が変わってきている。このことに向き合い、地域づくりを進めていくことが必要になる。そのためには人づくりが必要だが、難しい面がある。「reform」と「tramstom」の目と心を持つことの大切さを学ぶことができた。
1	現在、貧困の子供達に学習支援をしている。食事を提供し、日々工夫している。やはり、食べて勉強を一緒にしていくことが大変重要であると思う。市職員の方と一緒にやっているが、一緒に取り組んでいくことで、前へと進んでいく。今日教えることに、自分自身も勉強をしなくてははいけない。私は学ぶ喜びを感じている。ファシリテーターとして、今日よりも明日の自分への力を伸ばすこと、子供達と進んでいくことに、今日の講演はずい「力」になった。大変共感した。
1	地域役員をしており、幅広い視点で今後の参考になった。
1	講演から事例発表で疑問に感じた点について、自分なりの考えを見いだすことができたように思う。
1	自分の専門分野に生かせる言葉、情報が多く盛り込まれていた。
1	資料が豊富で、目からウロコだった。
1	地域のボランティアでは、自分の思いと合わないのが、新しい活動を始めるのはハードルが高い。行政できっかけづくりの活動があればと思う。
2	「教育は人をつくること」「誰もが一生の間よりよい自分を求めて学ぶ」という言葉が印象に残った。
2	たくさんの情報、考え方を発信していただけた。地域を見る大切さ、分かります。
2	自分に学ぶべきテーマを確認することができた。
2	様々な通知や条例、文献等より知識面の話をたくさん教えていただけた。講師先生のこれまで見てこられた、関わってこられた地域づくりの実践例をさらに紹介していただきたかった。
2	もう少し焦点をしぼって私達が明日から改善すべき具体的な展開や方向性について話していただけるとよかった。

Q 5. 現在活動されていること、今後活動しようとしていること

民生児童委員活動をしている。
生涯学習インストラクターとして活動している。レクリエーション活動の取組をしたいと考えている。
県立大学で地域診断法について少し学んでいる。地域でのワークショップをする際のファシリテーターを育成できたらいいねという話だが、私自身はまだ経験したことはない。多賀町の小学校でも実践されており、子どもたちに地域を知ってもらう取組ができたらいいなと思っている。
ボランティアで、障害児・高齢者活動に取り組んでおり、ノーマライゼーション社会への広がりが必要だと感じており、地域づくりとのつながりをもっと広げていきたい。地域づくりに無関心層も多いが、ち密な努力が必要だと思った。
昨年、甲賀市で「Read For Action読書会」を開催し、今年より「一枚自分史」作成を広げたいと考えている。県の生涯学習分野の現状とうまくマッチングできないかと思っている。
各公民館教室・講座で、地域課題に関する内容を考えている。
まだ働いているので何もしていないが、地域で子ども・若者や高齢者等、年齢を問わず生きづらさを抱えている人に寄り添って、地域の力で共助ができないかと思っている。
講座に参加し、高齢者の方々とお話すことによって、たくさんの価値観に触れたいと考えている。
地域の素材（歴史や人材）があまり活用されていない状況を感じている。何かが必要だとは思うのだが、解決と発展のための手立てが見つけられません。（コミュニティセンターとしての難しさもあるように思うのだが…。）本日の講演の中で、「ないものさがし」でなしに「あるものさがし」という話があったので、足元をもう一度しっかり見ていくことにしようと思う。

Q 7. 本フォーラムに対する意見・感想等

非常に勉強になりました。生涯カレッジの方向性が少し理解できていなかったのですが勉強になりました。主催者側も苦労されていることが少し理解できました。
各地で地域から学んでいこうという動きがありますが、それを地域づくりに結び付けていくためには、人とのつながりこそ重要であると改めて感じました。
日常生活の中で、生涯学習という言葉はたくさん聞く機会が多いです。しかし、実際はどのような活動をされているかわからない、知る機会がなかったので、とても勉強になりました。
素晴らしい講演、ありがとうございました。時間が短く、もっと深く浅野先生の講演をお聴きしたいと思いました。
地域とのつながりに対して思うことや、現在県下で広げていきたい活動と照らし合わせて、とても参考になりました。
行政が地域づくりの音頭をとっていくことの難しさを改めて感じました。
少子高齢化になり、地域で多様な問題がありますので、地域の課題解決型テーマであればと思います。また、各地域で生涯カレッジをされる場合、課題解決型テーマが参加しやすいと思います。
たくさんの方が来られて大変よいフォーラムだったと思いました。
大変参考になりました。（2）